

令和5年度
学校巡回公演事業

公益社団法人教育演劇研究協会



おはなしレストラン



「学校巡回公演事業」

小学校・中学校等において文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を行い、子供たちが質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養い、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的としています。

ワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。
また、実演においては、子供たちが参加できる工夫を行います。



舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)
独立行政法人 日本芸術文化振興会



劇団たんぽぽは・・・

1946年、戦争が終わり、大きな町が焼け野原になり、食べ物もなく、やせた子どもたちが日本中におおぜいいました。「子どもたちの元気な顔が見たい」と、長野県篠ノ井で小百合葉子を中心に子どもたちのための劇を見せる児童劇団「劇団たんぽぽ」をつくりました。はじめのうちはリュックサックに衣裳や道具をつめて、子どもたちのところに行って劇を見せました。1953年、静岡県浜松市にひっこしました。1955年、公演活動を認められ、文部省(当時)という国の機関から公益法人格が許可され、社団法人教育演劇研究協会をつくりました。北海道から沖縄まで、主に小・中学校で劇をしています。その他にも先生のための「朗読勉強会」や「学校での表現活動」「演劇ワークショップ」「クリスマス公演」など、教育演劇研究協会としての活動もしています。2012年、公益認定が受理され公益社団法人になりました。

おはなし レストラン

おはなしレストランへようこそ!
きみにピッタリの
今日のメニューは、これ!



原作/ブレーメンの音楽隊・大きなかぶ
脚色/宮田恵紀子 演出/村岡由美子
音楽/村岡由美子 美術/柿平衣名美
衣裳/柿平衣名美 照明/真野亮文
制作/上保節子



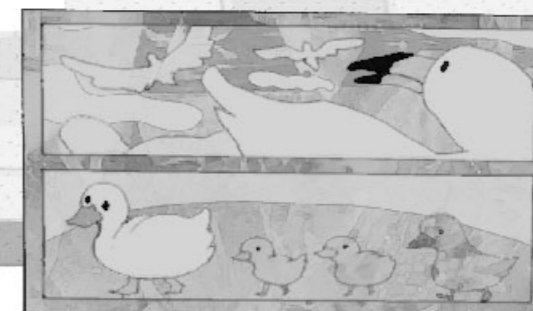
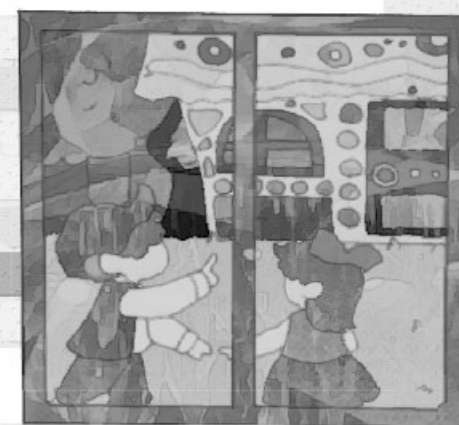
ブレーメンへの旅で

このお芝居では、年をとって役に立たなくなった、ロバ、ネコ、ニワトリの三びきが、「まだまだ人生これからだ。パッと花を咲かせよう」と、ブレーメンに向かって冒険の旅に出ます。この三びき、ブレーメンのことは何も知らないのですが、「やってみなくちゃ分からない」、とどこまでも楽天的です。

夢が持てなくて悩んでる少年が、犬役として、そんな三びきといっしょに行くことになります。

こうしてはじまるブレーメンへの旅で、少年と三びきの動物たちのあいだに何が生まれ、どうかわっていくのか?

——それは見てのおたのしみ。



おはなし

ある時、ふと、あらわれる、不思議なレストラン。
このレストランでお出しするのは、食べ物のお料理ではありません。お客様にピッタリのお話をご用意する、その名も「おはなしレストラン」。

ある日、使いこまれたランドセルを背負った男の子がやってきました。

「このランドセルがピカピカだったころ、ボクはなんでもできるような気がしていた。でも…。」

ふうーっと、ため息をついたその時に、レストランは現れる。

「いらっしゃいませ。おはなしレストランへようこそ。

君にピッタリの、今日のメニューは、これ!」

さて、扉を開けたその先で、男の子を
待っていたお話は…。

Today's
Menu

・おおきなかぶ
・ブレーメンの
音楽隊